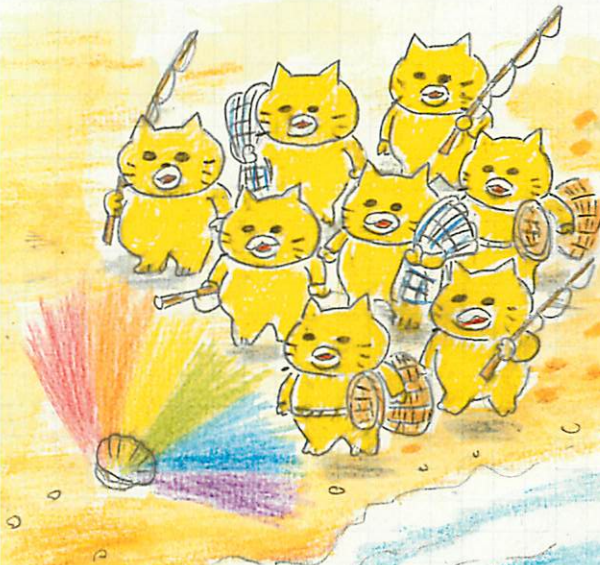


# よむよむNEO No.2

R2.4.15(水)

## すすめ、すすめ、はまぐりの船よ



「ノラネコぐんだんと  
海の集めの怪物」

工藤ノリコ・作  
(白泉社) NDC.913

「まいどおさわがせの  
ノラネコぐんだんの  
読みもの編です。  
いつものように  
いたずら心のおもむくまに  
ニャーニャー大さわぎして  
いるのでは？  
…とおもったら！」

なんと、今回はまほうのアイテムを手に、  
海のおひめさまをすくいに大ぼうけんの巻。  
まさかの「カッコいいバージョン」です！

長編で「からよくなる…  
これって…これって…何かに似てる…  
アッ、映画版の「ドラえもん」か！  
そう、そんな感じで読んでください。  
ノラネコぐんだん大ぼうけんのたび、  
たぶんまだまだ つづきます。



## この本、 読んでみたまえ。



「きみが、この本、読んだなら」  
(・ざわめく教室編)  
(・とまどう放課後編)  
戸森しるこ 他 (さ・え・ら書房) NDC.913

「いいな」と思う本を読んだとき、  
だれかの顔が思い浮かんだことはありませんか？  
「この本、あの子もきくと気に入るんじゃないかな」  
「この本、あの子に読んでほしいなあ」  
「本のこと、いっしょにおしゃべりしたいな」



この短編集の主人公たちはみんな  
物語の中で本をだれかにオススメしたり  
オススメされたりしています。

- なぜかいつも、ひざの上に人形を座らせて  
いるクラスメイトの女の子が気になってしかたないぼくは、  
「りかさん」(梨木香歩・作)という本を、そと  
その子の机の上に置きました。
- 本嫌いなのに図書委員になってしまったぼくに  
おばあちゃんがすすめたのは「2分間の冒険」(岡田淳・作)。  
それは母さんのいわくつきの一冊だったのです…



大切な人に本をすすめる」がテーマの、ちょっと変わった  
短編集。この中でオススメされている本はどれも  
図書室で借りて読むことができますよ。  
気になったら、ぜひ！